



りんご

山形県山形市 イノチオ東北株式会社 営業部 営業支援課課長 井上 孝さん

自社圃場で試験を重ね、自信をもって防除暦に採用しています。

農業資材販売や病虫害防除指導を展開するイノチオ東北株式会社では、天童市で50aの自社試験農場を活用。

そこで薬剤の現地試験を重ねて検証し、自社の防除暦に採用しているのが特徴です。りんごの防除暦には、5月の落花15日後頃にアグロスリン水和剤、8月上～中旬にはロディー水和剤を採用。同社技術普及部の井上次長にその理由についてうかがってきました。

「ロディー水和剤は20年以上前から、アグロスリン水和剤は3年前からりんごの防除暦に採用しています。アグロスリン水和剤は以前からおうとうの防除暦に採用してきましたが、りんごでの自社試験の結果、シンクイムシ類とアブラムシ類の防除効果が特に高かったんです」。

アグロスリン水和剤とロディー水和剤を採用しているポイントは4つです、と井上次長。シンクイムシ類への効果、同時

防除性、収穫前日数の短さ、果樹の適用の幅広さ、といった4つの理由について教えていただきました。

「収穫時まで被害が見つけないシンクイムシ類は、放任園からの成虫飛来などもある最重要害虫です。アグロスリン水和剤は特にこのシンクイムシ類への防除効果が高く、発生初期での密度低下に最適です。また、両剤ともキンモンホソガとギンモンハモグリガの同時防除ができることがポイントでした。山形はりんごとともに、おうとう、ラ・フランスなど他の果樹も栽培している園地が多いことから、ドリフト問題を考慮すると、収穫前日まで使えることや果樹での適用作物が幅広いことも採用の理由となりました」。

さらに、近年ヒメボクトウの被害が増えているので、来年からは食入孔に直接ノズル噴射するロビンフッドを防除暦に採用したい、と今後の予定を語っていただきました。



落花15日後頃 | ハマキムシ類・シンクイムシ類
キンモンホソガ | アグロスリン水和剤 1,000倍(100g)

8月上～中旬
前回散布14日後 | シンクイムシ類・アブラムシ類・ナミハダニ・カメムシ類
ハマキムシ類・ギンモンハモグリガ・キンモンホソガ | ロディー水和剤 1,000倍(100g)

